

2025 年 4 月 17 日

SUBARU 新型「フォレスター」を発表

～サイクリストに対応した歩行者保護エアバッグを世界初採用～

SUBARU は、本日 2025 年 4 月 17 日に、新型「フォレスター」(日本仕様車)を発表しました。



新型フォレスター「Premium S:HEV EX」

第 6 世代となる新型「フォレスター」は、安心感を提供する先進安全装備、走る愉しさを感じさせる優れた運動性能、とことん使えるユーティリティなど、性能と実用性をさらに高め、日常から非日常まで、どんな時でも乗る人の期待に応える正統派 SUV であり、SUBARU のグローバル販売を支える中核モデルです。

新型フォレスターは、2.5L 水平対向エンジンとトランスアクスルを搭載し、動力源であるエンジンとモーターを効率よく使い分けるシリーズ・パラレル方式のストロングハイブリッドを採用した「X-BREAK」、 「Premium」、高回転までリニアに出力を発生する伸びやかな加速と、環境性能を高次元で両立する 1.8L 直噴ターボエンジンを搭載した「SPORT」の 3 グレードをラインアップしました。

安全性能では、万が一の衝突時に、歩行者やサイクリストを守る「サイクリスト対応歩行者保護エアバッグ」を世界初採用。また、ステレオカメラに加えて広角単眼カメラや前側方レーダーを搭載した新世代アイサイトを装備し、プリクラッシュブレーキで対応できるシチュエーションを拡大しました。

運転支援機能では、ドライバーの運転負荷を軽減し、よりスムーズな運転をアシストする機能を装備した高度運転支援システム「アイサイト X(エックス)」をフォレスターとして初採用。乗る人すべてに安心感と、クルマで移動することの愉しさを提供します。

<SUBARU オフィシャル Web サイト フォレスター>

<https://www.subaru.jp/forester/>

【新型フォレスターの主な特長】

<デザインコンセプト>

「Ready for Adventure ～いつでも冒険に出られる、頼れる GEAR～」をコンセプトに、一目で高い機能性や、日常から非日常までフォレスターと過ごす上質な体験を想起させるデザインとしました。

<エクステリアデザイン>

従来モデルからの進化を感じられるよう、量感と頑丈さの追求をモチーフに、ボリュームのある堂々としたプロポー

ションを実現しました。

- ・フロントビュー

フロントグリルからヘッドランプまで造形を連続させることで、ワイド感を強調するとともに、上下分割タイプのフロントバンパーを採用し、フロントマスクの厚みを表現。上部は、フォグランプを囲む造形とすることで、安定性を感じさせるデザインに仕上げました。

- ・サイドビュー

フェンダーの張り出し感を強調し、サイドウインドウ周辺の造形に厚みを持たせることで、フロントからリヤまで軸の通った力強いボディ、走破性の高さや安心感を表現しました。

- ・リヤビュー

左右のコンビネーションランプをつなぐように高い位置に軸を配し、ボディ下部の厚みとワイド感を強調しました。また、リヤゲートガーニッシュに堀り込んだ「FORESTER」オーナメントを採用することで、力強さと存在感を強調したデザインに仕上げました。

- ・ボディカラー

新色のリバーロック・パールを含む、全 11 色のボディカラーを設定。さらに、ブラックルーフによりキャビンを引き締め、ボディの厚みを際立たせる 2 トーンカラーを新たに展開しました。

- ・アルミホイール

グラフィックに動きを持たせ、アクティブさを表現し、キャラクターを際立たせるカラーリングを採用したアルミホイールをグレード毎に設定。また、Premium には、19 インチホイールを採用しました。

＜インテリアデザイン＞

デザイン性と実用性を兼ね備えたテクスチャーや、乗員のコミュニケーションを重視したシート形状など、普段使いからアクティビティまで家族や仲間と愉しめる居心地が良いインテリアに仕上げました。

- ・インパネ

ヘキサゴンパターンを配して、SUV らしいタフさを表現。また、グレード毎に色や触感の違う素材を適所に配置し、それぞれの素材を活かした立体構成で上質なインテリア空間に仕上げました。

- ・センターコンソール

上面の位置を高くして包まれ感と上質感を表現するとともに、操作性も向上させました。

- ・ドアトリム

乗員に安心感と快適性をもたらす、フロントとリヤそれぞれに適したデザインのドアトリムを採用しました。

- ・アイコン

リヤクォーターガラスや大型サンルーフ*1 に配したハチドリや、リヤゲートガラス下部の赤城山など、アクティブなイメージをモチーフにしたアイコンを各所に施し、SUV らしい遊び心を表現しました。

- ・シート

仙骨を押さえて骨盤を支えるシート構造と、シートレールを直接車体に固定する構造を採用し、身体やシートそのものの揺れを抑えることで、快適な乗り心地を実現。また、ショルダーまわりのポリウレタンを削ることで、ドライバーがリラックスした姿勢で運転できるようにするとともに、前後席間のアクセス性を高めるシートデザインとしました。さらに、Premium は撥水ファブリック/撥水トリコットやナッパレザー/ウルTRASエード[®]*2、X-BREAK には撥水ポリウレタン/合成皮革、そして SPORT にはウルTRASエード[®]/合成皮革を採用し、グレード毎のキャラクターをより際立たせました。

＜パッケージング&ユーティリティ＞

- ・荷室スペース

従来モデル同等の大きな荷室開口部と、6:4 分割可倒式リヤシートによって荷室を自由に拡張することで、大きな荷物や長尺物を搭載できる必要十分な容量スペースを確保しました。

- ・キックセンサー式ハンズフリーパワーリヤゲート*3

両手がふさがっている時でも、リヤバンパー中央付近の下に足を入れて引くだけで、リヤゲートを自動で開閉することができ、スマートな荷室へのアクセスを可能にしました。

- ・カーゴサイドフック&ユーティリティナット

両サイドに荷物の固定や小物の吊り下げに便利なカーゴフックや、バーやラックなどの様々な SUBARU 純正アクセサリーを装着できるユーティリティナットを採用し、荷室の使い勝手の良さをさらに高めました。

- ・マルチメディアシステム

11.6 インチセンターインフォメーションディスプレイやナビゲーション機能、ETC2.0 車載器キットを標準装備。そして、12.3 インチフル液晶メーター*4 をフォレスターに初採用し、利便性を高めました。

- ・ハーマンカードン*5 サウンドシステム*6

リヤクォーターに 200mm のサブウーファーを搭載した、ハーマンカードンサウンドシステムを専用チューニングすることで、上質で臨場感のある音響空間を実現しました。

<動的質感>

〔共通〕

・フルインナーフレーム構造

ボディ全体の骨格部材を強固に組み立ててから、外板パネルを溶接する「フルインナーフレーム構造」を採用。ボディの高剛性化と軽量化により、路面からの振動の収束性を高めました。

・ウェルドナット形状変更

フロントサスペンションクロスメンバー/リヤサブフレーム/フロントシート取り付け部のウェルドナット形状を変更し、ボルト締結力を面で受ける形式に変更。取り付け部の剛性を高め、操縦安定性と乗り心地が向上しました。

・高減衰マスチック

ルーフパネルとブレースの間に、振動吸収性が高く、制振性に優れた高減衰マスチック(弾性接着剤)を採用。これにより、ルーフの共振による音を抑制し、車内音の収束性を向上させることで、快適な乗り心地を実現しました。

・防音材の最適化

ドアガラスの板厚アップや各インシュレーターのパフォーマンス強化により、フロア周りの防音性能を高めることで、高周波音を低減し、車内における会話明瞭度を大きく向上しました。

・エアアウトレット

フロントフェンダー後部にダクトを配し、ホイールハウス内の空気を排出するとともに、車体側の空気の流れを整えることで、操舵応答性と高速走行時の安定性を高めました。

〔ストロングハイブリッド搭載モデル〕

・2.5L 水平対向エンジン

ストロングハイブリッド専用の 2.5L 水平対向エンジンを搭載。SUBARUらしい走りの楽しさと、ハイブリッドならではの環境性能を両立しました。また、PCU(パワーコントロールユニット)をエンジンルーム内に配置することで燃料タンク容量アップを実現し、航続可能距離が伸長しました。

・トランスアクスル

駆動用と発電用の 2 つの高出力モーター、フロントデファレンシャルギア、電子制御カップリングをワンパッケージ化した、ストロングハイブリッド専用のトランスアクスルを搭載。最高出力 88kW を発生する駆動用モーターにより、幅広い走行シーンでモーター駆動をメインとし、モーターが苦手な領域をエンジン駆動がカバーします。また、発電用モーターから高電圧バッテリーへの電力供給を緻密に制御することで、駆動用モーターの電力量を安定に保ちます。

・機械式 AWD

プロペラシャフトで前後輪をつなぐ機械式 AWD を採用。路面状況に合わせて、後輪へ駆動力を瞬時に伝え、前後輪のトルクを適切にコントロールすることで、様々な路面で SUBARUらしい優れた走行安定性を実現しました。

〔1.8L 直噴ターボエンジン搭載モデル〕

・1.8L 直噴ターボエンジン

日常での扱いやすさを重視し、低回転域から 300N・m の高トルクを発生。アクセルを踏み込むとしっかりとした加速感が得られ、高速道路上的での合流や追い越しなども気持ち良く行えます。

・アクティブトルクスプリット AWD 制御の最適化

精緻な前後駆動力配分により、レーンチェンジのようなシチュエーションでの操舵初期の応答性とライントレーシングが向上。路面状況の変化に対する安定性と両立させました。

<安全性能>

・新世代アイサイト

ステレオカメラに加えて広角単眼カメラや前側方レーダーを搭載した新世代アイサイトを装備し、プリクラッシュブレーキで対応できるシチュエーションを拡大しました。

・衝突安全ボディ

バンパービームを車両外側まで拡大するとともに、衝突サブフレームを追加することで、衝突エネルギー吸収効率が向上しました。また、ストロングハイブリッド搭載モデルでは、PCU のエンジンルーム内配置や、高電圧バッテリーのリヤフロア配置に対応する構造を見直し、電気関連部品の安全性にも配慮。衝突安全性能を向上しました。

・サイクリスト対応歩行者保護エアバッグ

エアバッグ展開領域を A ピラー後方まで拡大し、万が一の衝突時に、歩行者と頭部接触位置が異なるサイクリストも守る歩行者保護エアバッグを世界初採用しました。

・SUBARU STARLINK

重大な事故や車両故障が起こってしまった場合に 24 時間 365 日コールセンターとつながるコネクティッドサービス「SUBARU STARLINK」を採用しました。

＜運転支援機能＞

・アイサイト X [Premium S:HEV EX/X-BREAK S:HEV EX/SPORT EX]

渋滞時ハンズオフアシストやアクティブレーンチェンジアシスト、カーブ前速度制御といった機能により、ドライバーの運転負担を軽減し、よりスムーズな運転をアシストします。

・ドライバー異常時対応システム

ツーリングアシスト作動中に、長時間ステアリング無操作でドライバーに異常が生じたと判断した場合、自動で減速・停止し、ハザードランプの点滅とホーンで周囲へ警告するドライバー異常時対応システムと、ドライバーモニタリングシステムとの連携を強化。これまでのステアリング無操作のみならず、ドライバーのわき見や居眠りでも作動するようになりました。また、コーストダウン（惰性走行）や、パルスブレーキによる振動でドライバーにさらなる注意を促す機能を追加。さらに、ドライバー異常時対応システム作動によるハザードランプ点滅のタイミングを、減速制御開始と同時に早めることで、早期に周囲の車両へドライバーの異常を知らせます。

＜視界性能＞

・前方視界

エンジンフード左右端と A ピラー付け根部分を低くすることで、斜め前方の視界を拡大するとともに、ドアミラーを小型化することで、左斜め前の死角を低減。さらに、運転時にフロントワイパーが視界に入らない設計とすることで、ドライバーの運転を妨げない前方視界を実現しました。

・後方視界

リヤクォーターガラス窓肩の高さを下げることで、車線変更時など、斜め後方を確認する際にも見やすい後方視界を実現しました。

*1: 大型サンルーフは、メーカー装着オプション。

*2: Ultrasuede[®]、ウルTRASエード[®]は、東レ株式会社の登録商標です。

*3: 「X-BREAK S:HEV」は、メーカー装着オプション。

*4: 「SPORT EX」、「X-BREAK S:HEV」、「X-BREAK S:HEV EX」、「Premium S:HEV」、「Premium S:HEV EX」に標準装備。

*5: ハーモニックードン、Harman/Kardon は、Harman International Industries Inc.の登録商標です。

*6: ハーモニックードンサウンドシステムは、メーカー装着オプション。

【①新型フォレスターの主な諸元(ストロングハイブリッド搭載モデル)】

グレード		Premium S:HEV	Premium S:HEV EX	X-BREAK S:HEV	X-BREAK S:HEV EX
駆動方式		AWD(クラッチ開放制御)			
全長×全幅×全高(mm)		4655×1830×1730			
乗車定員(名)		5			
ホイールベース(mm)		2670			
最低地上高(mm)		220			
車両重量(kg)*7		1750<1780>	1730<1740>	1740<1770>	
燃料消費率(WLTC モード)(km/L)		18.4	18.8		
燃料タンク容量(L)		63			
燃料種類		無鉛レギュラーガソリン			
エンジン	種類	水平対向 4 気筒 2.5L DOHC 16 バルブ AVCS 直噴			
	最高出力[ネット] [kW(PS)/rpm]	118(160)/5600			
	最大トルク[ネット] [N・m(kgf・m)/rpm]	209(21.3)/4000-4400			
駆動用モーター	型式・種類	MC2・交流同期電動機			
	最大出力[kW(PS)]	88(119.6)			
	最大トルク[N・m(kgf・m)]	270(27.5)			
駆動用バッテリー	種類	リチウムイオン電池			
	容量[Ah(2h)]	4.3*8			
変速機		リニアトロニック			
ステアリング歯車形式		ラック&ピニオン式			
サスペンション形式[前輪/後輪]		ストラット式独立懸架/ダブルウィッシュボーン式独立懸架			
主ブレーキ形式		油圧・回生ブレーキ協調式			
ブレーキ形式[前/後]		ベンチレーテッドディスク/ベンチレーテッドディスク			
タイヤ(オールシーズン)・サイズ		235/50R19		225/55R18	

*7: <>内はメーカー装着オプションを組み合わせて装着した場合の最大値。

*8: SAE J2288 における公称容量は 4.5Ah(1C、CC 放電、2.7V カット)。

【②新型フォレスターの主な諸元(1.8L 直噴ターボエンジン搭載モデル)】

グレード		SPORT	SPORT EX
駆動方式		AWD(常時全輪駆動)	
全長×全幅×全高(mm)		4655×1830×1730	
乗車定員(名)		5	
ホイールベース(mm)		2670	
最低地上高(mm)		220	
車両重量(kg) ^{*9}		1640<1660>	
燃料消費率(WLTC モード)(km/L)		13.6(13.5) ^{*10}	
燃料タンク容量(L)		63	
燃料種類		無鉛レギュラーガソリン	
エンジン	種類	水平対向 4 気筒 1.8L DOHC 16 バルブ デュアル AVCS 直噴ターボ “DIT”	
	最高出力[ネット] [kW(PS)/rpm]	130(177)/5200-5600	
	最大トルク[ネット] [N・m(kgf・m)/rpm]	300(30.6)/1600-3600	
変速機		リニアトロニック	

ステアリング歯車形式	ラック&ピニオン式
サスペンション形式[前輪/後輪]	ストラット式独立懸架/ダブルウィッシュボーン式独立懸架
主ブレーキ形式	2 系統油圧式(倍力装置付)
ブレーキ形式[前/後]	ベンチレーテッドディスク/ベンチレーテッドディスク
タイヤ(オールシーズン)・サイズ	225/55R18

*9: <>内はメーカー装着オプションを組み合わせで装着した場合の最大値。
 *10: ()内はメーカー装着オプションの大型サンルーフを装着した場合の数値。

【販売計画】
 月販 2,400 台

【価格表】

グレード	パワーユニット	変速機	駆動方式	メーカー希望小売価格 (単位: 円)		ボディカラー																
						モノトーン										2トーン						
						クリスタルホワイト・パール※1	アイスシルパー・メタリック	リパールロック・パール※1	マグネタイトグレー・メタリック	クリスタルブラック・シリカ	クリムゾンレッド・パール※1	サファイアブルー・パール	ディブレイクブルー・パール	オータムグリーン・メタリック	ブリリアントブロンズ・メタリック	カシミアゴールド・オパール※1	クリスタルブラック・シリカ/ マグネタイトグレー・メタリック※2	ブリリアントブラック・シリカ/ ブリリアントブロンズ・メタリック※2	オータムグリーン・メタリック※2	クリスタルブラック・パール※3	クリスタルブラック・シリカ/ リパールロック・パール※3	
SPORT	水平対向4気筒 1.8L DOHC 直噴ターボ “DIT”	リニアトロニック	AWD	3,680,000	4,048,000	●		●	●	●	●	●		●		●						
SPORT EX				3,810,000	4,191,000	●		●	●	●	●	●		●		●						
X-BREAK S:HEV	水平対向4気筒 2.5L DOHC 直噴 ＋ モーター [e-BOXER(ストロングハイブリッド)]			3,820,000	4,202,000	●	●	●	●				●			●		●	●	●		
X-BREAK S:HEV EX				4,070,000	4,477,000	●	●	●	●				●			●		●	●	●		
Premium S:HEV				4,080,000	4,488,000	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
Premium S:HEV EX ☆				4,180,000	4,598,000	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

※1: 33,000 円高(消費税 10%込)
 ※2: 55,000 円高(消費税 10%込)
 ※3: 88,000 円高(消費税 10%込)
 ☆動画紹介グレード

なお、商品等についてのお問い合わせは、最寄りの販売会社、または SUBARU お客様センター「SUBARU コール」 0120-052215 までお願いします。